

2017 **5.1**  
平成29年

# 議会から こんにちは

穏やかな春を迎える好天  
のなか、3月17日に平成  
28年度で閉校となる船津川  
小学校の最後の卒業式が  
執り行われました。



**5月臨時会を  
開催します!!**

詳しくは裏面をご覧ください

さの  
市議会だより

[www.city.sano.lg.jp/gikai/](http://www.city.sano.lg.jp/gikai/)

## 平成29年2月定例会

- 平成29年度予算案を可決
- 予算審査特別委員会では延べ25人が質疑
- 一般質問に16人が登壇

▼佐野市議会のライブ中継と録画配信をしています。

佐野市議会

検索



佐野市議会スマート中継

検索





# 平成29年度の予算を審議・可決

平成29年度予算は、「平成29年度佐野市行政経営方針」及び「平成29年度予算編成方針」に基づき編成されました。

市長の予算大綱説明に対する予算大綱質疑には、横田誠議員(新風)、久保貴洋議員(自民佐野)、本郷淳一議員(公明党議員会)、鶴見義明議員(日本共産党議員団)、山口孝議員(政風会)小暮博志議員(政友みらい)(以上質疑順)の6人が登壇しました。

また、議員全員で構成された予算審査特別委員会では、一般会計、各特別会計及び各公営企業会計の予算(案)に対し、3月2日～7日のうち4日間にわたり延べ25人の委員による質疑が行われました。

その結果、新年度予算全12議案を可決し、併せて「平成29年度予算審査要望書」(3～4ページに記載)を取りまとめました。



市長の予算大綱説明

## 予算審査特別委員会 (パソコン・タブレット・スマートフォンで映像をご覧になれます!)



予算審査会場の様子



副委員長  
横田 誠



委員長  
飯田 昌弘

## 予算審査特別委員会質疑者一覧

一 般 会 計			
発言 順序	氏 名	発言 順序	氏 名
1	菅原 達	9	本郷 淳一
2	田所 良夫	10	亀山 春夫
3	木村 久雄	11	山口 孝
4	鈴木 靖宏	12	高橋 功
5	久保 貴洋	13	鶴見 義明
6	大川 圭吾	14	小暮 博志
7	齋藤 弘	15	岡村 恵子
8	金子 保利	16	山菅 直己

## 各特別会計、水道事業会計及び病院事業会計

発言 順序	氏 名	発言 順序	氏 名
1	菅原 達	6	鶴見 義明
2	鈴木 靖宏	7	本郷 淳一
3	小暮 博志	8	岡村 恵子
4	木村 久雄	9	山口 孝
5	大川 圭吾		



予算審査会場の様子

# 平成29年度予算審査要望書

## (佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進)

1 平成29年度予算は、総合戦略を深化させ、交流人口と定住人口を増加させるため、地方創生を更に加速化するものと位置付けられた。

総合戦略に掲げた施策の展開に当たっては、4つの基本目標ごとに設定した数値目標や、各施策について設定した重要業績評価指標に基づいて、PDCAサイクルにより計画・実行・検証・改善を行うこととしているため、予算に計上された事業の実施後は、着実に検証し、改善に取り組まれない。

## (自主財源の確保)

2 平成29年度の一般会計歳入歳出予算は、前年度比0.1%増の465億9千万円となった。前年度と同規模であるが、歳出予算に計上された田沼西地区小中一貫校の整備、界小学校校舎の増築と改修、(仮称)高萩・若宮統合保育園の建設などの施策は、いずれも欠くことのできない事業であるため、「入るを量りて出ずるを為す」の原則とは逆になるが、2.6%増を見込んだ市税の確保、遊休資産の売却、受益者負担の適正化による使用料等の見直しを行い、自主財源の確保に全力を尽くされたい。

## (防災・減災対策)

3 国は、近年の異常な気象状況や大規模噴火の可能性の高まりを「新たなステージ」と捉え、危機感をもって防災・減災対策に取り組んでいく必要があるとしている。

本市でも、昨今は短時間強雨が増加していることに加え、本年2月には前橋市から足利市にのびる「大久保断層」が主要活断層帯に追加された。

こうした状況に対応するため、今後も引き続き避難勧告等を適切に発令ができる体制を整えるとともに、市民一人一人が自然災害に対する心構えと知識を備え、いざという時には、自ら考え、適切に行動することができるようにするための施策を推進されたい。

## (市有施設等のあり方)

4 市有施設等のあり方については、平成26年4月に総務省から公共施設等総合管理計画の策定要請があり、この計画を包含した市有施設等のあり方に関する基本方針が、平成28年3月に策定された。

平成29年度は、この方針に基づく市有施設適正配置計画を策定する予定であるが、市有施設等の効率的な整備と利活用を実現することは、合併の効果であるとともに、最大の行財政改革となるため、一日でも早くこの計画を策定して実施されたい。

## (妊娠期から子育て期にわたるまでの支援)

5 現在、国は核家族化や地域のつながりの希薄化等による妊婦や保護者の不安と負担感を解消するため、妊娠期から子育て期にわたるまでの支援について、ワンストップ拠点を立ち上げ、切れ目のない体制の整備を推進している。

こうした動きに呼応し、現在本市をはじめ医療機関、保健所、児童相談所など、様々な機関が個々に行っている支援について、本市がそれらをつなぐ拠点となり、医療・保健・福祉の効果的な連携を図られたい。

## (超高齢化対策)

6 平成28年版高齢社会白書によると、我が国の高齢化率は26.7%、75歳以上の割合は12.9%となった。特に平成37年には全ての団塊の世代が75歳以上となる時代を迎えるため、今後は、社会保障経費が増大する半面、それを支える若い世代が減少していく。

こうした状況への対応策は、健康増進と介護予防により医療や介護の費用を削減することが最も効果的であるため、平均寿命が全国トップである長野県、健康寿命がトップクラスである愛知県や静岡県等の取組を参考に健康マイレージ事業等の健康寿命を伸ばすための対策を講じられたい。

(企業立地・誘致の促進と雇用機会の創出)

7 若い世代を本市に呼び込むための戦略としては、「安定したしごとをつくる」ことが最も有効である。佐野田沼インター産業団地は本年2月に完売し、佐野インター産業団地(第2期)の分譲も順調に進んでいる。こうした事業により、雇用が確保され人口が増え市税も増える。

平成29年度は、企業立地支援事業や出流原PA周辺総合物流開発整備推進事業等が予定されているが、こうした人口減少に効果のある施策を今後も積極的に推進されたい。

(観光戦略の推進)

8 圏央道の茨城県内区間が本年2月26日に全線開通し、NEXCO東日本は、会見で「関東各地の観光地へのアクセス向上とインバウンド観光の後押しが期待できるほか、物流の面では、企業活動の活性化や地域経済の好循環、雇用の創出に大きく寄与するもの」と説明した。本県と成田空港方面を結ぶ交通アクセスも飛躍的に向上するため、訪日ムスリムインバウンド推進事業やシティプロモーションの推進、全国山城サミットの開催などを行い、更なる観光誘客を図られたい。

(国民健康保険事業)

9 国民健康保険事業については、平成30年度から栃木県が財政運営の責任主体となり、中心的な役割を担うことで、制度の安定化を目指している。現在、栃木県と各市町において制度や運用の詳細について協議を進めているが、各市町で賦課方法、収納率、財政状況等が異なるため、当初から保険税を平準化するかどうかも含め、その概要はまだ決まっていない。

そこで、本市は引き続き、治療から予防策への転換、特定健康診査と特定保健指導の促進、ジェネリック医薬品の普及促進、収納率向上対策などを着実に実施し、財政の健全化を目指されたい。

(市民病院のあり方)

10 当局より、市民病院は地域医療を支える中核病院として今後も存続し、その経営形態を民設民営として民間譲渡を目指すこととし、譲渡先は医療法人財団青葉会を優先的に交渉相手としたい旨が示された。

今後は、有識者会議の意見を踏まえ、市民が納得することができるような譲渡の条件(土地、建物、医療機器等の取扱い、建物を建て替える場合の財源、赤字の場合の市の補填、将来にわたり医療を継続するための担保など)を十分検討されたい。

平成29年度一般会計・特別会計の当初予算

一般会計	465億9,000万円
特別会計	327億5,660万円
一般会計・特別会計合計	793億4,660万円

うち、議会費 3億1,971万8,000円

議員人件費 ※1	2億2,387万1,000円
職員人件費 ※2	6,550万4,000円
会議録作成及び市議会情報システム運営事業費 ※3	745万8,000円
政務活動支援事業費 ※4	720万円
議会運営総務事務費	502万1,000円
議会だより発行事業費	367万2,000円
常任委員会活動支援事業費 ※5	313万6,000円
議会映像インターネット配信事業費 ※6	161万3,000円
全国市議会議長会参画事業費、外8事業	224万3,000円

- ※1 議員24名分
- ※2 事務局職員8名分
- ※3 タブレット使用料(議員1人1台貸与)、会議録調製費、会議録検索システム
- ※4 議員1人あたり年間30万円交付(議員24名分)
- ※5 常任委員会行政視察旅費
- ※6 議会中継、録画配信するための経費





青木 伸 議員(政風会)

質問方式  
一括質問  
一括答弁  
今期(2013年4月から  
2017年3月まで)4年間の  
行政運営に関する総括と、  
来期の展望について

Q 岡部市長に來期の佐野市の行政運営、  
施策などの概要、抱負、決意を伺いたい。  
市長

A 合併後12年間で築きあげてきました一  
体感の醸成や、地域の特性を生かした発展  
を通じ、私の目指すまちづくりの基礎がで  
きてきました。これからの4年間は「市民  
が輝くまち佐野」の実現です。人口流出を  
抑制し、人口流入を促すため、雇用環境の  
充実、交流人口の増加、出産・子育て環境の  
整備などの目標に向かい、さまざまな施策  
を進めていきます。全身全霊を挙げて4期  
目の市政運営に当たりたいと考えていま  
す。

その他の質問

- ☆出流原PA周辺総合物  
流開発整備関連事業の  
進捗状況、及び今後の方  
向性について
- ☆高齢者等の社会福祉施  
設の考え方について
- ☆佐野市民病院の民設民  
営化説明会における、市  
民の反応について
- ☆東京オリンピック・パラ  
リンピックや栃木国体  
を見据えた、スポーツ振  
興、アスリートを養成す  
るための政策について



平成27年(2015年)に  
完成した佐野市役所庁舎



横田 誠 議員(新風)

質問方式  
一問一答  
地域と共にある  
学校づくりについて

Q 田沼西地区小中一貫校では、地域の  
調整・パイプ役として、\*地域コーディネ  
ーター(学校支援地域本部)の設置が不  
可欠と考える。当局は地域コーディネ  
ーター(学校支援地域本部)の設置につい  
てどのように考えるか。

A 教育長

今、小中一貫校開校に向けて、田沼  
西地域の町会長、保護者、育成会の方々、  
各校の先生方を交えて学校支援地域本部  
の設置に向けた話し合いを進めています。  
子供たちは地域の大人たちとかわるこ  
とで多様な体験・経験の機会がふえ、地  
域住民はみずからの経験や知識を生かす  
ことができ、双方  
が結びつくことに  
より地域の教育力  
の向上が期待でき  
るため、今後も前  
向きに取り組んで  
いきます。

その他の質問

- ☆児童生徒を見守る防  
犯カメラの設置につ  
いて

※地域コーディネーターとは・・・  
学校支援地域本部にあって、学校教育  
活動への教育支援人材や教育プロ  
グラム等の導入にあたり、コディネ  
ートを行う地域人材。  
これまで学校が行ってきた地域との連  
絡調整業務を行うことで、学校の負  
担軽減にも配慮する。



高橋 功 議員(自民佐野)

質問方式  
一問一答  
唐沢山城跡保存整備  
事業の確実な進捗と  
山城サミットについて

Q 平成29年度の整備実施計画の策定につい  
て伺いたい。

また、平成30年度からは史跡整備に着手し、  
第1期事業の終了時期は平成35年度を計画し  
ているようだが、事業予算は確実に予定通り  
推移をしていくのか。

A 教育総務部長

平成29年度は史跡の全体設計と最重要課  
題の石垣をテーマとし、危険木の除去や環境  
整備を扱う史跡整備の実施設計を予定してい  
ます。国指定史跡唐沢山城跡が望ましい姿を  
目指せるよう努力していきます。

A 総合政策部長

現在、平成30年度から12年間の第2次佐  
野市総合計画の基本構想について策定委員会  
で検討しています。具体的な実施事業は平成  
29年度前期基本計画策定の中で議論してい  
きます。限られた財源の中  
で、国の補助を活用し  
ながら保存整備事業を選  
定し、進めていきます。

その他の質問

- ☆市民病院の民間譲  
渡と佐野市の医療  
構想について



▲ 国指定史跡唐沢山城跡の石垣



木村 久雄 議員公明党議員会  
質問方式 一問一答  
保育環境の向上について

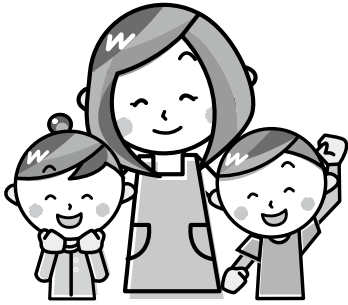
Q 本市では、待機児童対策として臨時保育士の処遇改善を図るため、8,700円の日額報酬を、職歴や職責に応じて9,000円から1万円とすることになったが、保育士の確保は図れたのか。

A ことども福祉部長

報酬改定後の平成28年10月以降、8名が採用に至りました。現在常勤している臨時保育士に対する継続の希望では、75名の勤務継続が見込まれています。また、新たに募集を行い、16名が採用内定しており、この結果、確保人数は前年比9名増の91名となります。今後も保育士の確保に十分に努め、余裕ある形で配置をし、保育士の処遇改善が図れるよう努めていきたいと思えます。

その他の質問

- ☆交通事故対策について
- ☆食品ロスについて



大川 圭吾 議員(政友みらい)  
質問方式 一問一答  
市民から行政への各種相談について

Q 相談の内容によっては、警察署、弁護士、社会福祉協議会、県等と速やかに連携する必要があると思うが、現在の相談体制は。

A 市民生活部長

相談内容により、まずは市の関係部署で対応しますが、市に関係部署がない場合は国や県の機関の相談窓口へ繋いだり、案内をして相談者に対応しています。また、消費生活センターには振り込め詐欺、オレオレ詐欺等の相談がありますので、その際には警察に情報提供し、被害にあった方には警察へ相談に行くように説明しています。また、最近ではインターネット等の取り引きで海外のショッピングでのトラブル相談もありますので、その際には国民生活センターの越境消費者センターを案内しています。各相談窓口では、庁内連携はもとより、関係機関と連携して相談に対応しています。

その他の質問

- ☆選挙の投票率向上に向けて
- ☆狭あい道路(幅員4m未満道路)の拡幅について



鈴木 靖宏 議員(自民佐野)  
質問方式 一問一答  
高齢者福祉事業について

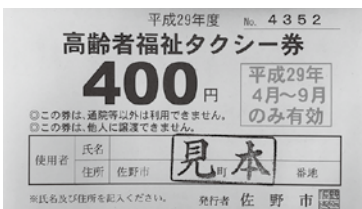
Q 高齢者福祉タクシー券は現在、医療機関等への部分で使用目的が決まっているが、1カ月毎に枚数を決めて、(例えば、1カ月に5枚交付し、医療機関専用で3枚、医療機関及び買い物利用で2枚)買い物弱者への配慮、利用拡大を実施するというようなタクシー券の利用多様化を提案するかがか。

A 健康医療部長

高齢者福祉タクシー券の利用方法は現在実施要綱に基づき、通院時のみとしています。今後ますます高齢化が進み、買い物等に困る方が増えると予想されるとともに、高齢者の運転による重大な交通事故が増加している現状を考えますと、高齢者福祉タクシー券の利用方法についても、今後見直しを視野に入れていく必要があると考えています。

その他の質問

- ☆小中学校のICT教育における今後の取り組みについて
- ☆マイナンバーカードについて



▲ 高齢者福祉タクシー券





鶴見 義明 議員(日本共産党議員団)  
市民病院について

**Q** 青葉会を優先的に交渉相手とするというのだが、いざ民間譲渡となると簡単に協議が成り立つとは思えない。残り1年という中で民間譲渡は非常に厳しいと思っているが、期限までに譲渡が成立しなかった場合、それまでの間、指定管理者制度を延長することも選択肢にあると伺ったが、内容を確認したい。

**A** 健康医療部長

全てが順調に進捗するものと想定した場合、指定管理期間が平成30年3月31日までとなつていきますので、期限までに譲渡できるよう努めていきたいと考えています。しかし、合意形成がなされなかった場合には、指定管理期間を限定的に延長するなど、市民にご不便をおかけしないよう、今後の対応を検討することになります。

その他の質問  
☆障害者差別解消法について  
☆住宅用防災機器設置について



▲ 佐野市民病院



岡村 恵子 議員(日本共産党議員団)  
出流原PA周辺  
総合物流開発整備  
推進事業について

**Q** 国は経済効果を「大型物流の倉庫や施設がどれだけできるか」で示すやり方をしているという指摘があり、国際競争力の強化の背景には、財界、大企業、産業優先であることが伺える。この事業を進めていくことは、国の政策の物流の成長戦略のお先棒を担ぐことになると思いい、この事業は見直すべきと考えるがいかがか。

**A** 総合政策部長

出流原PA周辺総合物流開発整備推進事業の目的は、事業方針の整備目的にあるとおり、企業誘致を促進し、雇用の創出と経済の進展による地域の振興を促進することです。佐野市が掲げる交流拠点都市の実現にもつながり、市全体にとっても利益となる事業であると考えていますので、今後も推進していきたいと考えています。

その他の質問  
☆教育費の負担軽減について  
☆子ども医療費無料化の拡大について



▲ インランドポート(管理棟)の工事現場



田所 良夫 議員(新風)  
山城サミットについて

**Q** 山城サミット開催により、市外からも多くの方が佐野市にお越しになると思う。来訪者へのおもてなしとして、関東平野を広く望める市庁舎7階の展望ロビーに「富士山」「三義山」「東京」等を表示した案内板を設置してはどうか。

**A** 総合政策部長

案内表示板の設置は、来庁されるお客様のサービス向上にもつながるご提案であると考えます。山城サミットでは大勢のお客様を本市にお迎えします。この機会に7階展望ロビーに案内表示板を設置することについて、早速検討していきたいと思ひます。



▲ 佐野市役所庁舎 7階展望室



菅原 達 議員(公明党議員会)

質問方式 一問一答

「子どもの居場所」づくりの推進について

Q 子どもの居場所には食事の提供や学習の支援に加え、入浴や洗濯等家庭の機能を補完する役割を担うことが理想だが、負担の大きさがネックとなり、普及の足かせとなっている。そこで、まずは居場所の普及を図ることを目標とし、食事の提供と学習支援に限定した居場所づくりを推進すべきと考えるがどうか。

A ことも福祉部長

県では、食事や学習面などで子どもを支援する「子どもの居場所づくりサポート事業」を平成29年度に拡張する方向で検討しています。現在モデル事業として行われている支援のうち、食事、学習支援を必須とし、入浴や洗濯等は任意で、週4日以上運営を想定するなど条件緩和をしています。本市としても担い手であるボランティア団体や社会福祉法人等が活用したら県の事業を活用し、支援していきたいと考えています。

その他の質問

☆「子ども食堂」の推進について  
☆フードバンク開設について



久保 貴洋 議員(自民佐野)

質問方式 一問一答

小中一貫校について

Q 田沼西地区小中一貫校の学校名は既に決まっているのか、決まっていなるとすればいつごろ、どのように決めていくのか伺いたい。

A 教育総務部長

学校名については、田沼西地区の児童生徒、保護者、地域の方々に校名案の募集を行い、87件の応募の集計結果をもとに開校準備委員会の総務部会で3つの案を選定しました。検討の要点として学校が立地する地域の歴史性や特色、市立学校の名称としての適格性、わかりやすさ・親しみやすさ等を考慮し、開校準備委員会において案を審議し、結論を出します。その後、教育委員会や市長部局、議会での審議を経て正式に学校名を決定したいと考えています。時期については、その後の校歌や校章の作成等の協議を経て、平成29年度中を目途に決定したいと考えています。

その他の質問

☆公共施設について



▲ 田沼西中学校(現在)



本郷 淳一 議員(公明党議員会)

質問方式 一問一答

※デマンド交通の推進について

Q デマンド交通は、今後超高齢化社会が進む中、必要不可欠な交通手段である。ドア・ツー・ドアを目指すデマンド交通が整備されれば、運転免許証の早期返納も進み、交通事故防止につながると考えるが、現在の検討状況と今後の取り組みを伺いたい。

A 市民生活部長

検討の状況としては、まずは公共交通空白地域での地域内交通として試験的に導入することが望ましいと考えており、吾妻地区において町会役員に対する勉強会を実施しました。その後、制度設計のための行動実態調査を全戸にお願いし、現在集計中です。今後の取り組みは、行動実態調査結果を分析し、先進事例調査やタクシー事業者等へのヒアリング結果を参考にして、運用区域の設定や運行時間、運行経費の試算等を行い、モデルケースとしての制度設計を進めていく予定です。

その他の質問

☆唐沢山城跡の観光推進について

※デマンド交通とは・・・  
予約型の運行形態の輸送サービス。利用者が電話などで乗車を予約し、乗り場や行き先はエリア内なら希望できる。利用がいなければ走る必要がなく、小型車で済むことから、経費削減やバスが走れない狭い道でも運行ができる





齋藤 弘 議員(政友みらい)

質問方式 一問一答

小中学校における  
新聞配置等について

**Q** 佐野市の小中学校では、学校の図書室に新聞を置いているところは何校あり、どのような配分状況になっているか。  
また政府は、児童生徒が社会の課題を多角的に捉え、自ら判断するために図書室に新聞配置が必要と判断し、小学校に1紙、中学校に2紙置くように自治体に促すとしているがどう考えるか。

**A** 教育長

小学校の図書室に新聞が配備されているのは6校で、このうち5校が1紙、1校が2紙配備となっています。なお、新聞販売店のご厚意により新聞が教室に配備されている学校を含むと小学校全27校のうち21校に配備しています。中学校については9校全てに1紙を配備しています。

平成29年度から、配備していない6校の小中学校については、図書室に1紙配備し、全部の中学校については2紙配備する方向で指導していきたく考えています。

その他の質問

☆行政経営方針について  
☆公共施設の総合管理について



金子 保利 議員(政風会)

質問方式 一問一答

道路行政について

**Q** 県道佐野古河線の道路改良事業は、高萩町交差点と高萩交差点(50号バイパス跨道橋)の道路冠水を解消する事業だが、雨水放流先が確保されていないことから、事業が終了しても2つの交差点付近の道路冠水解消とはならないのではないかと危惧している。このことについて、どのように対処するのか伺いたい。

**A** 都市建設部長

この箇所は、台風やゲリラ豪雨のような短時間豪雨の際に、たびたび道路冠水が発生することを、県も本市も認識しています。県が行う今回の道路改良事業に合わせ道路冠水も解消できるよう要望しています。今後の計画は、地域の雨水排水も合わせて処理できるように流末の計画を作成し、できるだけ早く整備促進がかなうよう、引き続き県と協力していききます。

その他の質問

☆安心安全な街づくりについて



▲冠水の様子



飯田 昌弘 議員(自民佐野)

質問方式 一問一答

不登校について

**Q** 不登校児童生徒の3年間の推移についてどのように考え、不登校対策としてどのように対処してきたのか。  
また、不登校ゼロに向けた決意を伺いたい。

**A** 教育長

平成25から27年度は増加の傾向でしたが28年度は減少傾向に転じています。増加の要因は、子供を取り巻く社会の変化や、無理な通学は状況を悪化させる懸念があるため子供に無理はさせないという考えが広まっていると捉えています。各学校では不登校対策委員会を設置し児童生徒一人一人の状況に適切に対応が図れるよう努め、教育委員会に報告のうえ、連携し指導しています。教育委員会としては不登校に関する問題は解決すべき重大な課題と捉え、今後とも学校、関係機関、家庭との連携を図りながら不登校の予防、早期発見、早期対応にしっかりと取り組んでいきます。

その他の質問

☆児童生徒の登下校時の安全対策について  
☆中心市街地の活性化について  
☆テレビや携帯電話、ゲームに費やす時間と家庭学習の割合の相関関係について  
☆佐野市の運転免許返納状況について





亀山 春夫 議員(政友みらい)

質問方式  
一括質問  
一括答弁

※鳥獣被害対策実施隊  
の設置について

**Q** 鳥獣被害防止特措法の改正法案が平成28年12月に公布、施行され、鳥獣被害対策実施隊の設置促進・体制強化が盛り込まれたが、設置についてどう考えるか。

また、地域住民だけでは鳥獣被害対策は困難な状況であり、各地区、町内会に鳥獣被害対策実施隊員、協力員の設置を希望したいが市の考えは。

**A** 産業文化部長  
県内においても実施隊の設置が促進されると考えられていることから、本市においても設置に向けた役割、課題等の検討が必要と考えています。その際、実施隊員数についても検討し、役割に応じた必要人員数を考えたと思います。また、鳥獣被害防止特措法には規定はありませんが、協力員についても検討していきたいと考えています。

その他の質問

- ☆捕獲イノシシで革製品について
- ☆高齢者の交通事故対策について

※鳥獣被害対策実施隊とは・・・  
鳥獣被害防止特措法に基づき、市町村が設置できる組織。被害防止計画に基づく捕獲、防護柵の設置といった実践的活動を担う。

平成29年第1回佐野市議会定例会 審議された議案等と結果

2月定例会は2月17日(金)から3月10日(金)までの22日間の日程で行われました。審議された議案等とその結果は次のとおりです。

議案番号等	件名(内容)	議決結果
議員案第1号	佐野市議会政務活動費の交付に関する条例の改正について(詳細は13ページに記載)	原案可決 全会一致
議案第1号	佐野市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の改正について(職員及び短時間勤務職員の任期を定めた採用に関する事項を定めるための改正)	原案可決 全会一致
議案第2号	佐野市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の改正について(育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正)	原案可決 全会一致
議案第3号	佐野市職員の育児休業等に関する条例の改正について(地方公務員の育児休業等に関する法律等の改正に伴い、所要の規定を整備するための改正)	原案可決 全会一致
議案第4号	佐野市職員の配偶者同行休業に関する条例の改正について(配偶者同行休業の期間の再度の延長ができる特別の事情を定めるための改正)	原案可決 全会一致
議案第5号	佐野市技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例の改正について(技能労務職員の部分休業等の取得による給与の減額について改め、及び所要の規定を整備するための改正)	原案可決 全会一致
議案第6号	佐野市特別会計条例の改正について(佐野市佐野田沼インター産業団地造成事業特別会計を廃止するための改正)	原案可決 全会一致
議案第7号	佐野市体育施設条例の改正について(物品販売等行為の使用料を定め、及び所要の規定を整備するための改正)	原案可決 全会一致
議案第8号	佐野市消費生活センター条例の改正について(消費生活相談員の要件を変更するための改正)	原案可決 全会一致
議案第9号	佐野市子ども・子育て会議条例の改正について(佐野市児童福祉推進協議会を佐野市子ども・子育て会議に統合するための改正)	原案可決 全会一致
議案第10号	佐野市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の改正について(保育料の算定について、寡婦控除等のみなし適用を実施するための改正)	原案可決 全会一致



議案番号等	件名(内容)	議決結果	
議案第11号	佐野市こどもクラブ条例の改正について(こどもクラブの設置並びに名称及び位置の変更をするための改正)	原案可決	全会一致
議案第12号	佐野市介護予防拠点施設条例の改正について(佐野市いきいき元気館さのを設置するための改正)	原案可決	全会一致
議案第13号	佐野市ふれあい館条例の廃止について(平成29年3月31日をもって佐野市ふれあい館を廃止するための廃止)	原案可決	全会一致
議案第14号	佐野市農業集落排水処理施設条例の改正について(農業集落排水事業飯田地区を公共下水道に統合するための改正)	原案可決	全会一致
議案第15号	佐野市足利佐野都市計画事業佐野田沼インター周辺土地区画整理事業施行条例の廃止について(足利佐野都市計画事業佐野田沼インター周辺土地区画整理事業が完了したための廃止)	原案可決	全会一致
議案第16号	佐野市都市公園条例の改正について(広告物の表示の使用料を定め、佐野市運動公園野球場の利用時間及び利用料金を改め、並びに所要の規定を整備するための改正)	原案可決	全会一致
議案第17号	佐野市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の改正について(水道事業企業職員の部分休業等の取得による給与の減額について改め、及び所要の規定を整備するための改正)	原案可決	全会一致
議案第18号	(仮称)あさぬま保育園建築工事請負契約について((仮称)あさぬま保育園建築工事の執行)	原案可決	全会一致
議案第19号	財産の減額貸付けについて(さのまちづくり株式会社への時価より低い価額での土地の貸付け)	原案可決	全会一致
議案第20号	土地の処分について(佐野田沼インター産業団地の市有地の売払い)	原案可決	全会一致
議案第21号	土地の処分について(佐野インター産業団地(第2期)の市有地の売払い)	原案可決	全会一致
議案第22号	平成28年度佐野市一般会計補正予算(第5号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ49,019千円を減額並びに継続費、繰越明許費及び地方債の補正)	原案可決	全会一致
議案第23号	平成28年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)補正予算(第3号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ163,705千円を減額)	原案可決	全会一致
議案第24号	平成28年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)補正予算(第4号)(歳入予算の補正(歳入総額の増減なし))	原案可決	全会一致
議案第25号	平成28年度佐野市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ13,549千円を減額、繰越明許費、地方債の補正)	原案可決	全会一致
議案第26号	平成28年度佐野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)(歳入歳出予算の総額からそれぞれ20,478千円を減額)	原案可決	全会一致
議案第27号	平成28年度佐野市佐野田沼インター産業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ239千円を追加)	原案可決	全会一致
議案第28号	平成28年度佐野市西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業特別会計補正予算(第3号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ181,379千円を追加、繰越明許費、地方債の補正)	原案可決	全会一致
議案第29号	平成28年度佐野市水道事業会計補正予算(第2号)(収益的収入の予定額に477千円を追加、収益的支出の予定額に35千円を追加)	原案可決	全会一致
議案第30号	平成28年度佐野市病院事業会計補正予算(第3号)(収益的収入及び支出の予定額からそれぞれ1,000千円を減額)	原案可決	全会一致
議案第31号	平成29年度佐野市一般会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ46,590,000千円とする)	原案可決	賛成多数
議案第32号	平成29年度佐野市国民健康保険事業特別会計(事業勘定)予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ15,618,700千円とする)	原案可決	賛成多数

議案番号等	件名(内容)	議決結果	
議案第33号	平成29年度佐野市国民健康保険事業特別会計(直営診療施設勘定)予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ281,600千円とする)	原案可決	全会一致
議案第34号	平成29年度佐野市公共下水道事業特別会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ3,715,600千円とする)	原案可決	全会一致
議案第35号	平成29年度佐野市農業集落排水事業特別会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ182,600千円とする)	原案可決	全会一致
議案第36号	平成29年度佐野市自家用有償バス事業特別会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ159,500千円とする)	原案可決	全会一致
議案第37号	平成29年度佐野市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ10,949,500千円とする)	原案可決	賛成多数
議案第38号	平成29年度佐野市介護保険事業特別会計(介護サービス事業勘定)予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ50,500千円とする)	原案可決	全会一致
議案第39号	平成29年度佐野市後期高齢者医療特別会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ1,244,200千円とする)	原案可決	賛成多数
議案第40号	平成29年度佐野市西浦・黒袴第二工区産業団地造成事業特別会計予算(歳入歳出予算の総額をそれぞれ554,400千円とする)	原案可決	全会一致
議案第41号	平成29年度佐野市水道事業会計予算(収益的収入の予定額を2,373,802千円、収益的支出の予定額を2,197,048千円、資本的収入の予定額を669,499千円、資本的支出の予定額を1,694,402千円とする)	原案可決	全会一致
議案第42号	平成29年度佐野市病院事業会計予算(収益的収入及び支出の予定額をそれぞれ665,775千円、資本的収入の予定額を142,394千円、資本的支出の予定額を247,554千円とする)	原案可決	全会一致
議案第43号	平成28年度佐野市一般会計補正予算(第6号)(歳入歳出予算の総額にそれぞれ41,962千円を追加、繰越明許費の補正)	原案可決	全会一致
平成28年陳情第3号	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」に関する陳情(詳細は13ページに記載)	不採択	賛成少数
陳情第1号	佐野市運動公園運動広場における補助球場としての機能の存続を求める陳情(詳細は13ページに記載)	採択	全会一致

## 賛否がわかれた議案等

	議決結果	賛成	反対	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		
				齋藤弘	亀山春夫	菅原久達	木村久雄	久保貴洋	鈴木靖宏	川嶋嘉一	青木伸誠	横田誠	蓼沼弘	小暮博志	井川克彦	若田部治彦	本郷淳一	飯田昌弘	高橋功利	金子保孝	山口良夫	田所敏明	篠原一世	山菅直己	大川圭吾	藤倉義雄	岡村恵子	鶴見義明			
議案第31号	原案可決(賛成多数)	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第32号	原案可決(賛成多数)	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第37号	原案可決(賛成多数)	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第39号	原案可決(賛成多数)	23	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
<b>陳 情</b>																															
平成28年陳情第3号	不採択(賛成少数)	2	23	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	

※○=賛成または採択、×=反対または不採択  
 ※「-」=篠原一世議長は採決に加わりません。



# 議員案の結果

## 議員案第1号

### 佐野市議会政務活動費の交付に関する条例の改正について

#### ▼提出者

金子 保利 議員

#### ▼賛成者

鶴見 義明 議員、山菅 直己 議員、飯田 昌弘 議員、本郷 淳一 議員、横田 誠 議員

#### ▼条例改正の理由

政務活動費に係る収支報告書等の写しを公開し、及び所要の規定を整備するため条例を改正するもの。

#### ▼審査結果

本案は2月定例会本会議において、採決の結果、議員全員の賛成により可決されました。

# 陳情の審査結果

## 平成28年 陳情第3号

### 「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」に関する陳情

#### ▼陳情人

栃木県保険医協会 会長 長尾 月夫

#### ▼陳情の要旨

患者負担増で受診抑制がおきないように、現行の高額療養費制度、後期高齢者の窓口負担の継続を求める意見書を国に提出していただきたい。

#### ▼審査結果

本陳情は、前回の12月定例会において厚生常任委員会に付託され、継続審査となりましたが、閉会中に再度審査した結果、賛成少数で不採択となりました。2月定例会本会議においても、賛成少数で不採択となりました。

## 陳情第1号

### 佐野市運動公園運動広場における補助球場としての機能の存続を求める陳情

#### ▼陳情人

総合運動公園補助球場の存続を求める会 代表 新井 重光

#### ▼陳情の要旨

佐野市赤見町の佐野市運動公園運動広場における補助球場としての機能の存続を求める。

#### ▼審査結果

本陳情は、2月定例会において経済文教常任委員会に付託され、審査の結果、委員全員の賛成により採択されました。同定例会本会議においても、議員全員の賛成により採択されました。





# 5月臨時会日程(案)



平成29年第2回臨時会の日程は変更になることがあります。

月	日	開会時間	会議内容
5月	11日 (木)	10:00	臨時会(議長・副議長選挙)



# 6月定例会日程(案)



平成29年第3回定例会の日程は、5月26日(金)の議会運営委員会で内定し、6月2日(金)の本会議で決定します。

月	日	開会時間	会議内容	
5月	24日 (水)	-	請願・陳情提出期限(17:00まで)	
	25日 (木)	-		
	26日 (金)	10:00	議会運営委員会	
	27日 (土)	-		
	28日 (日)	-		
	29日 (月)	-		
	30日 (火)	-		
6月	1日 (木)	-		
	2日 (金)	10:00	本会議(市長の施政方針、議案説明)	
	3日 (土)	-	休会	
	4日 (日)	-	休会	
	5日 (月)	-	休会	
	6月	6日 (火)	10:00	施政方針質疑、議案質疑
		7日 (水)	10:00	本会議(一般質問)
8日 (木)		10:00	本会議(一般質問)	
9日 (金)		10:00	本会議(一般質問)	
10日 (土)		-	休会	
11日 (日)		-	休会	
12日 (月)		9:00	建設常任委員会	
		13:30	厚生常任委員会	
13日 (火)		9:00	経済文教常任委員会	
		13:30	総務常任委員会	
14日 (水)	-	休会		
15日 (木)	-	休会		
16日 (金)	10:00	本会議(委員長報告、質疑、討論、表決)		

## 臨時会号

(6月1日発行)のご案内

平成29年4月9日(日)に佐野市議会議員選挙が行われ、24名の議員が選出されました。6月1日発行の市議会だより第60号(臨時会号)でご紹介しますので、ぜひご覧ください。

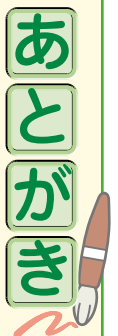


TEL 20-3036  
FAX 21-4411

議会事務局

編集委員会  
委員長 井川 克彦  
委員 本郷 淳一  
委員 小暮 博志  
委員 大川 圭吾  
委員 鈴木 靖宏

議長や委員会室設備のICT化が進み、議会のインターネット中継等が可能になり、2月定例会では議場内映像モニターを利用した一般質問も行われました。また、予算審査特別委員会においては質疑内容の通告制(任意)を導入し、メリハリのある緊張した質疑が行われました。定例会最終日は、電子表決システムでわかりやすい採決を実施しています。今後も更に進化した活発な議会を目指します。次回からは新メンバーによる編集になりますが、議会への傍聴やご意見等もお待ち申し上げます。(鈴木靖宏)



本紙は再生紙を使用しています。